

分科会開催報告書

報告日 令和5年12月2日（土）	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第177回浮雲俳句会
開催日時 令和5年11月26日（日） 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 男9名 女4名 合計13名 欠席者0名	

実施内容

第177回例会は兼題「立冬」の1句、当季雑詠3句、合計4句。
 最初に太田重九代表より、「句会のあり方と進め方」について再確認。
 句会は長島和女会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。
 月当番による合評後、意見・質問・添削等活発な意見交換がなされた。
 全会員により、特選句7句を選ぶ。

特選句

ほのぼのと朝粥の湯気冬に入る	とも女
兄看取る村の一夜の虎落笛	一 柷
水鏡青き空へと紅葉散る	和 女
縁側に小春と猫と座りをり	とも女
丸窓に紅葉散る影文机	あきえ
袴着の動画をそっと看護人	三 旦
モノレール夙の中ゆがみ来る	とも女

次回の予定

令和5年12月24日（日） 午前10時～12時
 第178回例会は、いきいきセンター晴嵐かなざわ
 兼題「植物（仲冬）」の1句、他に当季雑詠3句、合計4句。
 披講 西村あきえ会員